

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

電撃全滅からの、ビーンズ1次落ち、いただきました！

あれー？

投稿前に縁起をかついで、豆まきしたんだけどなー？

やはり、ピーナッツではダメだった、ということでしょうか。

あと、装備が「どうのつるぎ」だったことも、敗因の一つかもしれません。

そんな大昔の伏線を拾いつつ、通過倍率を計算したところ、

応募総数	588本
1次通過	46本
通過倍率	7.82%

あらやだ、8%切ってるわよ、奥さん！

これって、少年・少女あわせて、最難関レーベルじゃないかしら？

と、ご近所の奥さん風に主張して、1次落ちの自分を励ます展開。

それにしても、100本に7本しか通過せず、93本の作品が落選するなら、そりゃ自分のは落ちて当然……と考えてしまいます。

そんなマイナス思考とサヨナラして、「自分の作品は7本に入って当然」と言えるくらい、自信を持てる作品を書きたいものです。

そのために、日々の執筆を大切に。

来年の再戦までに、1つ1つの作品を丁寧に仕上げ、もっとレベルアップした自分になりたいと思います！

バルス祭りに参加しようと身構えていたのに、ちょうどその瞬間にパソコンがフリーズして、再起動したら番組が終了していた金曜の夜。

仕方ない……。

今夜は飲むか……。

それにしても、投稿中の作品はことごとく落選したし、今年の夏は祭りに縁がないなあーと思います。

あ。

電撃2次祭りは、なまはげ姿で参加して、その場を盛り上げる予定ですが。

それよりも、リアル祭りに参加して、夏の思い出を作れって話ですね（汗）

さてさて。

以上の話とは無関係ですが、先月分の記事を、パブーにアップしました。

らくだ図書館（19）

<http://p.booklog.jp/book/75047>

ブログは1画面に5つの記事しか表示されない（PC版）ので、『らくだ図書館』のまとめ読みはパブーからが便利です。

いつもより暴走が激しい先月分は、必読です。

ただし、このブログのコピーなので、新しい文章は何一つありません。

そんなこんなで、更新19か月を無事に迎えましたので、ご長寿ワナビブログを目指して今後も更新を続けようと思います。

今後もよろしくお願ひします！

本当にあった「らくだ図書館」 - 2013.08.03 Sat

頼れるものは自分の拳だけという点で、「北斗の拳の世界」と「小説投稿の世界」は、非常に似ていると思いませんか？

熱き信念（おもい）は、拳で語れ……ッ！

まあね。

拳をどのように使うかは、かなり違っておりますが。

それはそうと、最近ブログを応援していただける機会が増え、ありがたいです。

特に「笑える」「面白い」という言葉は、リアル世界では滅多に言われないので、感激にむせび泣いております。

しかし、自分のネタは8割方パロディか自虐なので、自力で面白い部分はほとんどないのですが……（汗）

ブログタイトルも、実はパクリです。



「らくだ図書館」は実在した！

らくだ図書館ご利用のみなさまへ

休館のお知らせ

らくだ図書館は、2月からこの建物を別の目的に利用するため、休館いたします。

移転して継続するかどうか、その場合の移転先などはまだ決まっておりませんが、決まり次第揭示いたします。

ご利用のみなさまにはご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、勝手ながら図書館は1月25日より当面のあいだ休館とさせていただきます。

しかし休館中！

そんなわけで、ブログタイトルを拝借しましたが、本物は今どうなっているのでしょうか……。

撮影場所は天王寺動物なので、機会があれば、また見に行きたいと思います。

「常木らくだ」と「常に落選」は、発音がちょっと似ていると思う、そんな今日この頃です。

ところで、自分の原稿をチェックする際、机のない場所でも作業できるよう、クリップボードを買ったのですが。

いいです。

すごく便利です。

原稿の左側をとめて、右からめくって読んでいく、というスタイルです。

左側をとめる理由は、とめ具が右側にくると、書き込む時に邪魔だからです。

こんなに便利なら、完成稿をクリアファイルで保存するより、クリップボードで保存した方がいいかもなあー。

キンドルも相当役に立ってますが、読み直すだけで加工はできないので、やはりクリップボードが最強だな、と思います。

あと今回も、蛍光ペンで台詞の色分けをしているのですが、相変わらず主人公の色ばかりインクが切れる！

黄色はまぶしいので、今回は緑にしたのですが、緑だけ3本目突入です。

ラブラブ幼馴染カップルに絡みつつ、本人は最後まで一人身という寂しい主人公ですが、台詞ばかり無駄に多いという……。

というわけで、この話は本当に面白いのか、いつも以上に不安要素が大きいです。

まあでも、不幸な主人公を書くのは、何気にとっても楽しいですが（笑）

とにかく、完成させなきゃ投稿も出来ないなので、自作を信じて頑張ろうと思います！

今執筆中の作品は、中盤に挿入する予定の過去回想を、最初に書きました。

ようやくその地点まで辿り着いたので、過去回想を挟んだ上で、これから後半へ入っていくところです。

しかし、おかげで枚数が一気に進んで、10枚ほどワープした感覚です。
書いたのは自分ですが、すごく得した気持ちです。

この心境は、アレですね。

体育の授業でグラウンド10周するべきところを、いつの間にか自分だけ1周遅れになってしまい、そのせいで先生がカウントを間違え9周でゴォォール！みたいな。

……………。

例が具体的すぎるだろ、っていうね。

すみません。

体力のない人間なので、マラソンは大嫌いでした。

とまあ、聞かれてもいないのに弱点を披露し、そしてわけもなく周囲に謝するという、いつも通りのDM展開です。

常木らくだの自虐っぷりを心配されている皆様、どうぞご心配なく！

決して鬱になっているわけではなく、失敗談を笑われると元気が出る人間なので、進んでたくさん書いているだけです。

そんなわけで、過去回想の話題を強引に自虐へ繋げつつ、今夜は以上です。
今週も頑張るぞー！

小説家になろう連動レーベルというと、ヒーロー文庫が思い浮かびますが、少女系のレーベルも出来たのですね。

その名も、アリアンローズ文庫。
新人賞も開催されているようです。

公式ホームページ

<http://www.arianrose.jp/award/index.html>

締切りは、10月末日。

HPに詳しい記載がありますが、「異世界で働く女の子」が活躍する、女性向けの作品を募集とのこと。

字数の規定は、10万字以上。
もしくは、5万字以上+プロットを送信。

ちなみに応募は郵送ではなく、なろうにアップした上で「アリアンローズ応募作」のタグを貼ると、エントリー完了みたいです。

これ、「異世界」という条件がなければ、是非とも出したい作品があるのですが（汗）

現代日本で働く女の子、ではダメですね……。
応募規定を無視してますもんね……。

そんなわけで、自分はおそらく参加できませんが、初耳の新人賞だったので紹介してみました。

他にも面白そうな賞を見つけたら、ここで紹介していこうと思います。

1級の受検資格 - 2013.08.07 Wed

日本語検定のHPを何気なく見たら、1級の受検資格が撤廃されるそうです。

コレ、今までは2級を持っていないと、1級を受けられなかったんですよね。
それが次回の検定から撤廃されて、誰もが1級を受けられるようになると。

えーっと？

1級を受けるために、去年1年かけて2級を取った自分は、一体どうすれば？

このタイミングで間が悪すぎ……いやいや、勉強したことが何よりの財産であって、全然無駄なんかじゃありませんよね！

というわけで、6月の1級は落ちたので、11月にまた挑戦します。

何度もしつこく書いてますが、自分は文章の勉強が大好きです。
ある意味、文章を書きたくて小説を書いている、とも言えます。

キャラも好きですけどね！

大事な順を書くなら、
文章 > キャラ > 設定 >>>>> ストーリー

文章に捧げているパワーを、半分くらいストーリーに回せば、弱点補強になって丁度いいと想像できるのですが……。

あと、タイトル決めも好きです。
タイトルを気に入ると、執筆意欲が倍増します。

とにかく、今はまだ次の締切りまで時間があるので、弱点補強を意識して執筆に取り組もうと思います。

弁天花火大会 - 2013.08.08 Thu

今日の緊急地震速報、ビックリしましたね。

実際には地震は起きませんでした、何もできずにオロオロするだけだったので、万一の事態に普段から備えておかなければと思いました。

しかし番号の表示も何もなく、携帯がいきなり鳴り始めたので、一瞬受賞連絡かと思いました（爆）

通過中の賞が何もないのに、受賞連絡を期待してしまう、ピュアで寂しいワナビ心。

あと、03で始まる知らない番号から着信があって、「キタァァー！」と思いながら電話に出たら、職場から電話してきた兄だったり。

……………。

携帯から電話してよ。

マジで心臓に悪いから。

そして、話は変わりますが、今夜は花火大会でした！

大阪府茨木市で開催された、弁天花火大会を見てきました。

見てきましたというより、家の前から見えました（笑）



かなり遠いですが、しだれ花火やらハート花火やら、バラエティ豊かで楽しめました。

べっ、別にいいでしょ！

一人で花火を見たって、綺麗なもんは綺麗よ！

というわけで、無意味にツンデレ化しつつ、今夜は以上です。

うがあああ～！

おめえさんも、こっちゃん来～い！

というわけで、電撃の発表の件。

2次通過された皆様、おめでとうございます！

このまま3次&4次も、通過できますように！

そして、落選された皆様。

自分も過去4年間ずっと、その思いを味わってきました。

おまけに今年は、一足早く脱落してしまったので、「頑張れ」なんて励ませる立場ではありません。

ただ、同じ痛みを知る者として、一つだけ伝えたいのは、「一緒に乗り越えよう」ということです。

自分も昔は投稿を続けようか迷っていましたが、その時にやめなかったおかげで、たくさんの素敵なキャラに出会えました。

自分が書いたのに、「出会えた」というのも変ですが、本当にそんな感覚。

次はどんなキャラと出会えるのか。

彼らはどんな名前で、どんな性格で、どんな夢を持っているのか。

そう思うとワクワクして、そのワクワクした気持ちこそが、落選の絶望を吹き飛ばしてくれました。

そういうわけで、今年の電撃については通った方の応援に回りつつ、来年の投稿のために作品を書き続けようと思います！

皆様、こんばんは！

投稿砂漠に浮かぶ蜃気楼、らくだ図書館へようこそ！

それにしても、真剣に投稿をしていると、しょっちゅう心が折れますよね。

落選。

周囲の冷たい目。

評価シートメッタ斬りコメント。

執筆中の作品に対する「つまらないかも」という不安。

でも、そんな苦難の道だからこそ、「あきらめの悪さ」って重要だと思うんです。

自分も、あきらめは悪いです。

どれくらいあきらめが悪いかというと、1次落ちしたのに2次リストに自分の名前があるかもしれないと思い、「Ctrl+F」で真剣に検索するくらいあきらめが悪いです。

うがあああ～！

オラの名前がねえがあああ～！（当たり前）

らくださんは1次落ちだから、ちゃんと現実を見た方がいいよ？

↑一人芝居ブログなので、自分で言ってみました。

とにかく、投稿は過酷な耐久レースだと思うので、一度や二度の落選ではビクともしない、鋼鉄の精神を身につけたいと思うこの頃です。

落選を反省することは必要ですが、自分を信じることはやめないで。

そう自分自身に言い聞かせつつ、取り組んでいこうと思います。

本日は命の危険を感じるレベルに暑く、外出から帰宅後、急に気持ち悪くなってしまいました。

ザ・熱中症。

それで、リビングで仰向けに寝ていたら、母が「身体を冷やした方がいい」と言って、氷袋を持ってきてくれたわけですよ。

で、その氷袋を、どこに置くのかと思ったら。

股間。

待てえええ！

そこでネタに走ったかあああ！

っていうか、確かに熱中症だけど、股間は別に熱くないよ！？

氷袋を置く場所って、普通はおでこでしょ！？

しかし、脱力するこちらに対し、母はどこまでも真剣な表情。

詳しく話を聞いたところ、太ももの付け根に重要な血管があるらしく、そこを冷やすと効果的にクールダウンできるとか。

むむ、そうなのか。

半信半疑で従ったところ、確かに即座に回復しました。

というわけで、外出中に友達や恋人が熱中症になった場合、素早く股間を冷やしてあげるといいと思います。

真面目な話ですからね！

以上、熱中症トリビアでした。

昨日の記事タイトルを、「股間が猛暑！」にしようと思った、常木らくだの小説投稿ブログはこちらです。

しかし、下品で嫌われるかもと思って、更新する直前にやめました。

……………。

昨日思いとどまっても、今書いたら台無しだろ、っていうお決まりのネタ。

いや、すみません。

もう股間ネタは言いませんので、ブックマークを消さないでください。

それから「猛暑？ もうしょーがないよ！」というギャグも、ウケないかもしれないと思って更新直前に消しました。

それはさておき、執筆中の作品が、ようやく後半に入りました。

書き終わった部分を毎日印刷して、紙状態で確認しているのですが、これが何気なくとっても便利。

序盤に仕込んだ伏線を拾う時とか、あそこどう書いたっけ？ と確認したい時に、紙原稿を見ながら打てるので、作業の効率が上がっています。

印刷するのは手間ですが、いちいち画面を戻さなくていいのは、非常に便利ですね。

自分も割とそうですが、「一度書いた箇所をあまり直さない」という方は、試してみるのも一興ではないでしょうか。

というわけで、猛暑ネタで字数を稼ぎつつ、今夜は以上です。

この変態的な猛暑に負けず、執筆を頑張りましょう！

皆様は「これをすると執筆に集中できる！」というものがありますか？

音楽をかける方はたぶん多いと思いますが、自分の場合はアメ玉をなめると集中できます。

アメが大好き、ムチも大好き。
どっちが来ても、それはご褒美。

そんなわけで、アメを買いに近所のスーパーへ行ったんですが、夏休みのお子様パワーには凄まじいものがありますね。

お菓子売場がわんぱく天国で、とてもアメの前へ近付けない！

おまけに割り込むのは大人げないので、その場でお子様をじっと見ていたら、母親らしき人に「アナタ何？」という目で見られる始末……。

いや、お子様が去るのを、ここで待っているだけですよ！？

自分はそこそこ変態ですが、児童を眺めてニヤニヤする趣味はなく、ムチで打たれる方が楽しいです。

(注) あくまでキャラ作りの一環ですので、通報はしないでください↑

それにしても「アメとムチ」って表現は、二つの単語が、全然対応していないと思いませんか？

かたや食べ物、かたや責め具。
良い物と悪い物の代表にしても、「もう少し他にあるよね？」と思うんですが。

そんな疑問を呈しつつ、今夜の主張は以上です。

過酷な猛暑日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

それはそうと、前回実施された語彙・読解力検定の、受検者詳細データを見てきました。

やっぱり気になるのは、今回が初開催だった1級。

何度もしつこく書いている通り、自分は不合格だったわけですが、

受検者数 994人

最年長合格者 47歳

最年少合格者 37歳

おお？

最年少が37歳？

これなら、仮に合格できていたら、最年少合格者になれたなあ……。

それにしても、他の級は普通に10代前半が最年少なので、1級だけ飛び抜けて難しいということですよ。

というわけで、落ちた悲しさが少し薄れると同時に、「次こそは」という勉強意欲が湧きました。

1級は今回が初開催だったので、次で37歳を下回れば、記録破りができますからね！

語学力は、人と比べてどうこうという物ではないですが、壁があると燃えるタイプなので頑張ります。

日本語検定の方も、行きたかったスケートの試合と同じ日ですが（汗）、受けるつもりで勉強しようと思います。

うぎゃあああー！

G A 名前ないいいー！

……って、今回は送ってなかった。

というわけで、ラノ文の発表があったり、G A の発表があったり、夏もいよいよ佳境です。

日本の夏。

ワナビの夏。

まあしかし今回だけでなく、G A さんには、自分はまだ送りますが。

いや。

というのも、前回の選評が。

こっちの心情がどうこうと言うより、これ以上投稿したらたぶん先方が迷惑だろうなと、そう思わせる内容でしたので。

G A さんに対しては、完全に自分の片想いでした、ということです。

あと残っている発表といえば、ヒーロー文庫のなろう大賞がありますが、これはもう完全に未知の世界。

いつ発表かはもちろん、通過率がどの程度なのか、どんな選考基準なのか、すべてが謎のベールなので、楽しみに待とうと思います。

やっぱり異世界召喚ものや、俺 T U E E E 系の作品が、選ばれるのでしょうか？

ドキドキですね。

あと、仮に1次落ちでも選評が来るので、ヒーロー文庫の選評も楽しみなところですよ。

ハイハイ！

野性時代の原稿が、用意できたぜーい！

と思ったら、封筒を閉めたまさにその瞬間、フロッピーディスクを入れ忘れたことに気づくなど。

そして、慎重に開けようとしたら、ビリッという音と共に、封筒のフタが破けるなど。

……………。

縁起わるーい。

その後どうしたかというと、隙間からフロッピーを入れて、破れた箇所が隠れるように、フタ部分にガムテープを貼りました。

そしたら、何事もなかったように、綺麗な状態になりました。

はっはっは！

私は封筒を破ってなどいない！

悪役風に高笑い。

もし面接で突っ込まれたら、「ガムテープで嚴重に封をしたいほど大切な作品だったので」と、答えようと思います。

いや。

面接なんてないですが。

とにかくそんなわけで、野性時代の原稿は準備できたので、明日投函してこようと思います。

火鍋大好き！ - 2013.08.17 Sat

本日は、恒例のアレでした！

小肥羊（シャオフェイヤン）の火鍋です。
火鍋というと冬を連想しますが、夏の暑気払いにも実はピッタリ。

食べ放題で、たんまりと食べてきました～。



臭がたくさんに見えますが、これらはすべて薬味です。

特に麻辣の方は、唐辛子ビッシリ（汗）
しかしこれが、オイシイのです。

さあ、お肉ちゃんカモン！



食べ放題のお肉は、ラム肉、ブタ肉、トリ肉の3種類です。

ラム肉というと普通はクセがありますが、これを麻辣の強烈なスープに入れると、化学反応が起こったようなおいしさです。

下の写真は、飲み放題のメロンソーダ。
まるで信号の青のような色ですね（笑）



帰りに東急ハンズ心斎橋店へ立ち寄ったところ……。

高槻市の「はにたん」と、箕面市の「たきのみちゆずる」くん。
大阪ご当地キャラの共演ですが、はにたん、たすきが今にも落ちそうです。



というわけで、火鍋で執筆パワーを蓄えつつ、来週も頑張ろうと思います！

ここ最近、日本語検定の話は何度かしましたが、その日本語検定が「第5回日本語大賞」を開催中です。

去年も紹介しましたが、今年もまた紹介します。

応募要項（PDF）

<http://www.nihongokentei.jp/amuse/grandprize/images/boshu05.pdf>

テーマはずばり、「言葉だから表せること」。

締切りは9月末で、一般の部の場合、字数は2000～3200字。

つまりこの文字数は、40×40の体裁で、約2枚ということです。

我々小説投稿者にとっては、やや長いあらすじの文字数です。

しかしそう考えると、誰に強制されるわけでもなく、原稿用紙300枚の小説を書いている自分は、スーパーマンじゃないかと思えてきます。

文章を書くのって、簡単そうに見えるかもしれませんが、実はものすごい重労働ですからね……。

世間の人々はもっと、投稿者を褒めるべき！

そんな自己主張はともかく、賞金は20万円ということですので、どなたか挑戦されませんか？

かく言う自分も、去年は紹介するだけでしたが、今年は参加しようと思います。

ちなみに前回の受賞作品は、こちらから読めるようです。

http://www.nihongokentei.jp/amuse/grandprize/04_result.html

自作を読み直している最中の出来事。

キャラクターが悔しがる場面で、「彼は上唇をギュッと噛んだ」という描写が、何気なく出てきたんですよ。

え、あれ？

なんか不自然じゃね？

悔しい時に噛む唇って、上と下どっちだっけ？

仕方なくドアを閉めて両方試したところ、上唇を噛んだら、威張ったゴリラのような顔になりました。

下だあああー！！

でも下唇を噛んでも、ドヤ顔の漫才師みたいになるだけで、決して悔しそうには見えませんでしたけど……。

顔がアカンのか？

自分のこの顔に問題があるんか？

しばらく考え込んだ後、別に上下を明言する必要はないと気づき、「彼は唇をギュッと噛んだ」に直しました。

とまあこういう具合に、真剣に小説を書いていると、何気ない描写一つにもドラマが生まれるわけです。

そんな素敵な結論に、かなり強引に持っていきつつ、本日は以上です。

それにしても、悔しい時に唇を噛むって、現実には起こらないような気がしますけど……。

突然ですが、ワタクシこういう性格をしているせいか、「常木さんってあまり悩みがなさそうだね」と言われることがよくあります。

いや、それは違う！

あまり悩みがないんじゃなく、全然ないんだぜヒッハー！

まあでも、ある意味そういう気質だから、投稿を続けていられる面もありますが。

1次落ちの経歴を進んで披露して、周囲に同情の目で見られるのも、苦痛どころかむしろ快（以下略）

それでもやっぱり、特に2年目くらいは、頻繁に落ち込みました。

本屋に行っても、図書館に行っても、救いようのない鬱思考でした。

「世の中には、これだけの本があるのに、自分は本を出せないでいる。つまり自分は、ここにある本の作者である何千何万という人達の、足元にも及ばないクズなんだ」と。

鬱です。

宇都宮です。

いや、すみません、宇都宮は関係ありません。

でも、アレですよ。

投稿のことで心底へこむのは、本気で叶えたい夢があるからで、それだけ真剣になれる自分は、夢がなかった時よりもずっと素敵な自分なんだと。

そうやって自分を肯定すると、少しだけラクになれました。

そして、DMな嗜好に目覚めた後は、もっとラクになれました。

真面目な話題を、残念すぎるオチで締めつつ、本日は以上です！

祝・600!

というわけで、「らくだ図書館」は投稿者の皆様に愛され、この記事で更新600回を迎えました。

え？

愛してないって？

キーッ、ヒドイわ！

アタシのことは、遊びだったのね！

そんな一人芝居はともかく、1回の記事が約500文字で、600回更新したということは、単純計算で30万文字を書いたということです。

自画自賛しますが、これ、スゴくないですか？

だって、らくだ図書館が長編小説だったら、もう3巻分の文章があるわけですよ？

むしろこのまま一生デビューできず、らくだ図書館が遺稿となる、そんな予感もうっすらしますが……。

いいんです！

死亡フラグばっちこい！

世の中はこれだけ広いのだから、そんなワナビが一人くらいたって、いいんじゃないかと思います。

とにかく、次の目標は700回、そして目指すは2周年ですね！

小説投稿は、一朝一夕に結果が出るものではないので、今後も焦らず騒がず続けていこうと思います。

あらすじい…… - 2013.08.22 Thu

投稿作のあらすじを書いていると、「800文字じゃ説明できないから、とにかく本文を読んでください」と思ってしまう、あらすじ嫌いの常木らくだです。

いや、思いますよね？

自分は毎回、本当に思います。

特に今から取り組むのは、書き上げた状態のまま放置していた、ちょっと前の作品のあらすじ。

その後1本他の作品を書いてしまったので、前作の内容を正確に思い出せず、読み返し作業が必要になるという状態です。

作品本文を書き上げた直後に、あらすじも勢いで書いておけばよかったけど、今さら言っても遅いパターン。

こんな時、思います。

あらすじに悩む自分の前に、あらすじの妖精「あらす爺」が現れて、「ワシにすべて任せるんじゃ」と言いながら、あらすじを代わりに書いてくれないかと。

……………。

いえ、すみません。

この手の妄想癖を治さないと、友達ができないと、自分でも気にしてはいます。

とにかく、前作を読み直して、自力で頑張ってみます。

以上、作業を進めるのがイヤで、現実逃避している常木らくだでした。

ああ……………。

あらすじい……………。

先週「ガムテープ大作戦」の記事を書きましたが、野性時代フロンティア文学賞に投稿しました。

今のところ、野性時代は2年連続で通っているのですが、今年も通過できればなあーと思います。

しかし、最近の常木らくだは、通過フラグを折りまくり！

そりゃもう、問答無用でバッキバキ！

ずっと相性がいいと思っていた、GA後期や電撃で、まさかの4作全滅ですからねえ……（遠い目）

そんなわけで、通過歴のある賞に送るのは心臓バクバクですが、送らなければ通る可能性はゼロなので、野性時代で負の連鎖を断ち切りたいです。

あとは、スーパーダッシュですね。

自分が毎年必ず参戦しているのは、電撃・GA後期・スーパーダッシュなのですが、電撃とGAのフラグは折ってしまったので、秋はスーパーダッシュにすべてを懸けます。

逆に言うと、スーパーダッシュも落選だったら、精神状態が相当ヤバくなりそうな予感です。

こんな時こそシークレット投稿すればいいのに、あえて「すべてを懸けます」と宣言する自分は、勇敢すぎる素敵なDM。

そんないつものDM話はさておき、野性時代は雑誌発表なので、本屋でドキドキしようと思います。

今度こそ絶対に復活だ……！

皆様、こんばんは。

ドラクエは1からプレイしている、ファミコンゲーマー常木らくだです。

ついでに言うと、スーパーマリオは、レッキングクルーの時代からプレイしております。

もっと言うと、小学生の頃に流行していたアイドルは、ローラースケートで踊る光GENJIでした。

それにしても、ドラクエは最高ですよ。

何周プレイしても面白く、毎回毎回、新しい発見があります。

1周目は何も知らない状態でワクワクできるし、2周目は内容を知っているからこそ、細かい部分をより深く楽しめます。

たとえば、「カンダタと戦わずに先へ進もう」とか。

もしくは、「今日はトムじいさんを押し続けよう」とか。

それでふと、思ったんですが。

ゲームと違って文章ですが、そんな小説を書きたいですよ。

1回目はワクワクしながら読んでもらえて、2回目以降は「あ、このセリフ伏線だったんだ」とか、より深く作品の世界を味わってもらえる。

最後まで飽きずに読めることは大前提として、内容を知った上で「また読みたい」と思ってもらえる、そんなレベルに辿り着けたら最高だなあと思います。

理想は、「いつも何度でも」読みたくなる小説。

今は1次で苦戦している状態ですが、いつかそんな作品が書けるよう、今後も精進したいと思います！

普段は冷房をつけないけれど、プリンターのために冷房をつけるのは、ワナビとして正常な行為だと思います。

いや、だって。

うちのプリンターさん、オーバーヒートすると、動きが止まってしまうんですよ。

そうすると、投稿作業に差し支えるから、仕方なく冷房のスイッチオン。

つまり、アレです。

夏場の大量印刷は、神経を使うんです。

しかし寒いと寒いで、水蒸気が発生して原稿が濡れるので、冬場の大量印刷も神経を使います。

「四季の移ろいを肌で感じる」とは、まさしくこのこと！（違）

あとは、たまに白紙が混ざっていることがあるので、印刷した原稿の通しチェックも欠かせません。

それから印刷の失敗談といえば、本文を右端ギリギリに寄せすぎて、穴開けパンチで穴を開けたら、1行目に穴が開いてしまった経験が。

まあでも、過去最大の失敗経験といえば、印刷済みの原稿をレストランに置き忘れて、戻って見たらなくなっていたことですね！

これ……。

前にも書きましたが、悲しすぎる実話です……。

皆様も、大事な作品を（文字通り）盗まれないよう、原稿の取扱いには十分に気をつけましょう。

取り組み中だった作業が一段落したので、ふと思い立って昔の原稿を整理していたら、おそろしく埃が積もっていて本気でビビるなど。

そうか……。

あの作品はもう、3年くらい読み返してなかったから、それでこんなに……。

しかしこの原稿、正直いらなくね？

たぶんもう読まないし、投稿用にも使わないし。

そんなわけで、4分の1サイズに切って、メモ帳として机の上に配備。

……………。

それにしても、泣けますね。

どこへ投稿してもあっさり1次落ちで、タイトルを披露することもできず、そのまま3年間も部屋の隅に放置され、メモ帳として最期の瞬間を迎える作品。

これがフィクションだったら、怨念が宿っていいレベルです。

そんな深い悲しみを乗り越え、メモ帳がたくさん補充できたので、新たな作品づくりに励もうと思います。

仮に結果は1次落ちでも、その作品を書いたからこそ、他の作品があるわけで。

幾多の落選経験の上に、今の自分があると思うと、落選作品にも感謝が湧きます。

世間は「受賞しなければ意味がない」と言いますが、落ちたからこそ出会える成長や発見も、きっとたくさんあると思うんですよね。

決して落選の言いわけではなく、それは本当に事実だと思うので、今後も落選を過度に恐れずやっていこうと思います。

そんな夏ですが - 2013.08.27 Tue

某スレで紹介(?)された後、アクセスが異常に伸びていたのですが、ようやく祭り以前の状態に戻ってきました。

PV数が増えるのは嬉しいことですが、本当にあり得ない伸び方だったので、嬉しい半面おびえていたんです。

この状態をイメージ映像で表現すると、

山奥の小さな一軒家『らくだ図書館』に、大型観光バスが予告なしに10台やってきて、常木らくだがカウンターの奥で震えているイメージ。

やめてー！

ここには何も無いわー！

しかし震えていては記事の更新ができないので、北斗の拳ネタやドラゴンボールネタを使いつつ、必死で笑いを取ろうと努力した結果、昭和のギャグで年齢が浮き彫りになる。

とまあ、自分はそんな夏でしたが、皆様の夏はいかがでしたか？

秋には、たくさん締切りがあります。

夏にも締切りはありますが、何となく、秋の方が多のような気がします。

結果待ちの方は受賞を祈りつつ、落ちてしまった方も、気持ちを切り替えて執筆です！

自分は7月早々に敗退してしまい、祭りにも参加できませんでしたが、こんな思いはもう二度としたくないので、次回は絶対に通過させるつもりです。

小説投稿って、ものすごく時間がかかりますからね。

今年の努力が来年の笑顔に変わる、そう信じてやっていこうと思います。

ちょうど1年ほど前だったか、某賞の1次通過発表時に、編集さんのコメントが書いてあったんですよね。

「女主人公はやめろ」

「ラブコメが少ないから、もっとラブコメを送ってこい」

それを見た時、自分は心底「え？」と思いました。

ジャンル不問で募集をかけているのに、その部分に文句を言うのって、なんか少し変じゃないかなあーと。

別に男主人公やラブコメが嫌いなわけじゃなく、むしろ進んで書くジャンルですが、通過発表時にそれを言うのは少し違うと思うんです。

そういう作品が欲しいなら、キネティックノベルのように、「主人公は男性で14～17歳のヒロインを登場させてください」と、募集要項に明記すればいいと思うんですよね。

そうすれば、こっちだってそれ以外の作品を送らないし、向こうだって女主人公の作品を読まなくていいし、お互いにとってメリットがあると思うんですけどね。

ジャンル不問で募集をかけていても、ジャンルを理由に落とすんだなあーと思うと、心底やるせない気分になってしまいます。

グチっぽい話ですみません。

たぶん当時も書きましたが、思い出したらまた悲しくなったので、もう一度書いてしまいました。

異論もあるかもしれませんが、「女主人公で面白いラノベは、この世の中にたくさんある！」と、それだけは声を大にして主張したいです。

郵便局へ向かう途中、いきなり大雨が降り出したので、抱き締めて原稿を守った常木らくだです。

原稿よ、お前は私の大切な分身だ。

昼も夜も、暑い日も寒い日も、我々はずっと一緒だった。

明日からは離れ離れだが、なに、お前なら絶対に大丈夫さ。

さあ、この郵便局から、東京へ向かって旅立つんだ！

そして、郵便局の窓口で、涙ながらに叫びました。

「私のことが嫌いでも、原稿は濡らさないでください！」

↑ 自分の作品を愛するって、こういうことですよ？（違）

とまあ変態ポエムや、無理やり感のあるパロディを披露しつつ、8月の投稿作業はこれにて完了！

で、せっかく郵便局へ来たからと思って、レターパックを大量に購入して、自動ドアを出た瞬間に呆然とする。

そうだあああ！

雨が降ってたんだあああ！

というわけで、「そのまま持ち帰ります」と言ったけど、窓口に戻って「やっぱりビニール袋ください」。

まあ、投稿を長く続けていると、そういうこともありますよね。

とにかく、8月の作業はこれで終わったので、9月もコツコツ地道に新作を書こうと思います！

ヒーロー文庫で1次通過しました！

このままでは7月と8月にあった発表はすべて落選で、「アイツは反面教師だね」と言われるところだったので、通過できて本当によかったです。

いや。

実のところ、もう言われておりますが。

わたしの将来のゆめは、反面教師になることです！（小学生の卒業式風に）

……………。

ここで宣言しなくても、もうなってるっつーの。

でも、いいんです。

格好悪くてもいいから小説家になりたいと思うので、これからも投稿活動は続けるし、落選の経歴もどんどん披露していこうと思います。

「アイツ、バカじゃねーの？」と笑われても構いません。

それよりも、小説を書かないまま一生を終えてしまう事の方が、自分にとっては遥かにずっと怖いんです。

どやあ！

今の発言、格好ええやろ！？

自慢することで、すべてが台無し。

そんなお決まりのオチですが、次通ったら最終みたいなので、二次選考も通過して欲しいです！

突然ですが、秋の賞はコレで勝負しようと思っています。



8月8日発売、2013年夏の新作ディズニー切手！
お求めは今すぐ、全国の郵便局へ！

自分は限定物に弱く、使う予定もないのに、うっかり50円切手まで買ってしまいました。

これを封筒に貼れば、あらやだ、こんなにカワイイ！



評価シートの返信用封筒で、他の投稿者に差をつけるッ！

しかし、くっくっく……。

ディズニー切手といえど、しょせんは単なる市販品よ……。

真の本命作品には、コイツを投入するぜ！



評価シートの返信用封筒で、優しく微笑むラクダが一頭。

こちらは手持ちの画像を切手にできる、オリジナル切手サービスを利用して作成。
やや高めの手数料を取られますが、詳細は郵便局のホームページへ。

カワイイ切手で夢いっぱい気分になった後、開封してメッタ斬りの評価シートを読むと、受けるダメージがハンパじゃありません。

去年の自分がそうだったので、この事実は間違いありません。
一瞬上がってから急激に下がる、二段構えのドMプレイが楽しめます。

以上、勝負切手の話でした。